

OG紹介番外編 田主丸旅行記

こんには。飛翔編集委員の林田です。主にOB・OG紹介を担当しています。学外に出ると、とにかくテンションが上がつてしまふのが玉に瑕ですが、それもまた良いところだと思っています。ということで、今回は私の……じゃなくて、編集委員皆のはしゃぎっぷりをトン紹介したいと思います。

本号のOG紹介は、福岡県のほぼ中央部に位置し、自然の豊かな久留米市田主丸町にお邪魔しました。

鉄道のことなら、我らが山谷編集委員長におまかせ!! 彼の手にかかるれば、電車の乗り方から時刻表、さらには電車の豆知識まで何でも話してくれます。今回の旅行は、「こだま指定席往復きっぷ」(※)を使っての行程でした。もちろん、編集委員長の推薦です(笑)。

この切符の特徴は、とにかく安いこと!! こだまなので時間はかかるものの、そこは学生、やはり安さには負けてしまいます。実は高速道路料金1000円に対抗して作った切符だそうで、期間限定発売だったにも関わらず、あまりにも人気なため発売期間がどんどん延びて、

現在(2010年2月)でも取り扱っているほど。



実際に使用した切符

さて、田主丸駅で私たち一行を出迎えてくれたのは、かわいらしい河童の駅舎。いくら河童の街とはいえ、なんとも大胆☆ 町のあちらこちらに河童をモチーフにしたモニュメントがあり、まるで私たちを歓迎してくれているようでした。このデザインは、町の学生から公募して、その中から選んだそうな。

※お酒は二十歳から

OGの高山さんまず案内していただきました。竹屋酒蔵。300年の時を刻む元禄蔵の土壁と大梁の空間を活かした試飲スペースは趣があり、自然とお酒が進んでしました。



田主丸駅舎

今回は、隣接する伝統的古民家の「和くら野」さんで取材をさせていただきました。囲炉裏を囲み、高山さんの学生時代の話や仕事の話(※P46(参照))に花が咲きました。田主丸町の歴史を始め、その地域の人々の足跡を聞くことができ、大変興味深かったです。その中で出てきた「筑後川の生き河童 まあしやん」と呼ばれた上村政雄さんの話。山

崎編集委員は大興奮で興味深く聞き入っていました。さらに詳しく聞きたいということで、昼食も兼ねて、まあしゃんとその息子さんが始めた鯉料理の店「鯉の巣」へ案内していただきました。

店舗の2階が、まあしゃんの博物館となつており、まあしゃんの生い立ちを扱ったビデオを見ました。また、まあしゃんと親交の厚かつた火野葦平さんとの写真や、まあしゃんが捕った巨大な鯉の魚拓など、普段では見ることができないものばかり。まさに伝説。



まあしゃんにちなんだ品々

そんなワイナリーの中に、自分が生まれた年に摘まれ、寝かされているワインを見たとき、いつかは飲んでみたいなと思いました。



高山さんの話に耳を傾ける編集委員一同

最後は、田主丸町が一望できる喫茶店で、高山さんとゆっくりお話し。若者の都市部への流出などが地方では問題になっていますが、地元を愛し、その良さを発信し、呼び込むという情熱が伝わってきました。



'89年物のワイン

暗くて不気味な雰囲気も醸し出していた貯蔵庫でしたが、貯蔵されているワインの量には圧倒されました。2009年物のヌーヴォもあり、とても美味しかったです。

最後にはワイン村へ。ここは山の貯蔵庫といつて、ワインや焼酎の貯蔵庫があります。皆さん、九州にワインなんてあるの？と不思議に思っているかもしれません。実は、ここ田主丸は、全国初の観光農園ができた場所なんです。しかも巨峰園。秋にはぶどう狩りや柿狩りを体験することができます。

また、田主丸町には先程の日本酒だけでなく、紅乙女という、女性が作った胡麻祥酎もあります。

小さな町なのに、こんなにも多くの物語があるんだなど、編集委員一同、高山さんの話に耳を傾けていました。

山道を少し登ったところにワイナリーがありました。中はヒンヤリとしており、(酒で)火照った体もすぐに冷めてしましました(笑)。やや

取材の傍ら、実は今回、みんなでスタンプラリーに参加し、プレゼントに応募してきました。しかし、未だ当選の連絡は誰にも来ず……。選したとは信じないで、黙って待ち続けましょう。

本号では、初めて県外に飛び出してOG紹介の取材をしました。どうなるか不安でしたが、OGの高山さんには、大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。

また、編集委員林田がほろ酔いで歩き回っていたのはもうお分かりでしょう。大変反省しておりますので、どうか今後ともよろしくお願ひします。

皆さん、田主丸町の良さは少しは伝わったでしょうか。自然を満喫したい、ゆつたりとした旅行がしたい、という方にはピッタリです。私たちも、もう一度行ってみたいと思いました。

皆さん、田主丸町へ是非、一度足を運んでみてはいかがですか？



最後に1枚
高山さん、本当にお世話になりました。

(※) 昨年の3月10日から発売され、値段は、往復の乗車券+1000円。2人以上が同一行程で「こだま」で往復する場合に限り利用できます。当初は期間限定の切符でしたが、すでに3回延長され、10万枚以上売っています。山谷編集委員長も愛用しており、取材のときには3度目の利用だったそうです(笑)。

Special thanks - 店舗紹介 -

若竹屋酒造場
利き酒処・元禄蔵



福岡県久留米市田主丸町田主丸706
TEL 0943-72-2175
営業時間 11:00~17:00
定休日 水曜・第2、4木曜



鯉の巣本店

和くい野



福岡県久留米市田主丸町田主丸619-2
TEL 0943-72-3659
不定休

福岡県久留米市田主丸町田主丸706
TEL 0943-72-1481
営業時間 11:30~16:00
定休日 水曜

田峰ワイン



【参考】

田主丸・ナミ

<http://www.tanushimaru-havine.net/>

久留米まち旅博覧会

<http://www.kurume-machihaku.com/>

福岡県久留米市田主丸町益生田246-1

T E L 0943-72-2382

定休日 売店 12/31~1/3

レストランカフェ・ホイリゲ 毎週火曜日（祝日の場合翌日）と
12/29~1/4

営業時間 売店 9:00~17:00

レストランカフェ・ホイリゲ 11:00~16:00



【担当】
21 生
林田
啓誉